

マイクロソフトのガイダンスにより、 Siemens Gamesa は従来型メーカーから デジタルプレーヤーに

「デジタル イネーブルメント オフィスの設立により、マイクロソフトは、当社のデジタル ソリューションのポートフォリオを拡大し、新しい働き方を受け入れ、大規模な生産の日常的な課題と、絶え間ないアジャイルなイノベーションの必要性との隔たりを埋めるための自信を与えてくれました。|

— Christoph Wiard Neemann 氏 (Siemens Gamesa Renewable Energy オフショア担当最高デジタル責任者)

課題

- Siemens Gamesa Renewable Energy は、デジタル変革の必要性を認識しながらも、デジタル化の専門知識が不足している従来型メーカーにとっては、デジタル化への移行は困難を伴う可能性があると感じていました。
- 品質の維持や向上を行いながらコストを削減し、 顧客満足度と ROI を向上させようと考えてい ました。

戦略

- ・ マイクロソフトコンサルティング サービスは、 時間をかけて Siemens Gamesa の具体的な課題 を把握して、同社がその移行プロセスを加速し、 ビジョンを実現できるように支援しました。
- 両社は、製品の品質を低コストで向上させ、装置をすぐにメンテナンスや実稼働できるように するソリューションにフォーカスしました。

結果

- ブレード成形用 AI ベースのプロジェクトに よって、作業上の欠点が削減されて手戻りが減 少し、品質が向上したうえに、コスト削減が実 現しています。
- 装置追跡プロジェクトにより、装置の場所をすばやく簡単に特定できるため、環境衛生と安全性のスコアが向上し、1 つの施設だけで年間6,000時間も節約できています。